

## 平泉町教育振興運動推進協議会

- 震災を超えて・新たな教育課題への取組  
組織の見直し・地域コミュニティ再生の取組
- PDCAサイクルによる推進の取組  
年間を通じた全県共通課題・モデルプログラムの取組
- 地域ぐるみによる「いわての復興教育」の取組  
防災教育・被災地支援交流・地域を担う人材育成の取組

活動の様子



## 『地域ぐるみの「きょうしん」へ向け再始動』

～組織再編による新たな運動のスタート～

### 1 地域の教育課題

- 1 「家庭学習の充実」
- 2 「読書活動の推進」
- 3 「家庭教育の充実」
- 4 「あいさつ運動」

＜課題の裏付けデータ＞

テレビ等視聴時間（小学生）

岩手県ー1日2時間以上が41.1%

平泉町ー1日2時間以上が48.3% ほか

### 2 役割分担と年間の計画

○課題解決のためのそれぞれの役割

＜子ども＞「生きる力」を身につける

- ・自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力を身につける

- ・地域の行事に積極的に参加する一ほか

＜保護者＞家庭教育を充実させる

- ・家庭での学習環境を整える
- ・学校行事や地域行事に積極的に参加する一ほか

＜先生＞学校教育を充実させる

- ・確かな学力を身につけさせる
- ・地域の行事に積極的に参加する一ほか

＜地域＞地域社会の教育環境を整える

- ・生活体験、社会体験、自然体験を積み重ねることができるような場を設ける
- ・経験を生かし、できることから活動に協力（参加、物資提供など）する

＜行政＞教育条件を整備・充実させる

- ・家庭教育や地域の教育に関する学習機会を充実させる
- ・運動の全体の調整や周知・啓発を図る
- ・情報の収集と提供を積極的に行う

○課題解決のための年間の取組

毎月1日を「ノーTVデー」（ゲーム・パソコン等含む）に設定一ほか

### 3 取組の様子

（1）組織の再編

近年、継続的・効果的な活動に至っていない状況となっていたことから、充実した地域ぐるみの教育運動として再構築していくため、平成24年7月24日に「平泉町教育振興運動推進協議会」を設立

（2）全体研修会

12月1日、町内全地区のリーダー（行政区長、地区婦人会長、地区PTA会長など）を対象に開催。グループワーク（7班）を通じて、地域でどんな活動ができるのかを話し合った。

（3）「ノーTVデー」の取り組み

毎月1日を『ノーTVデー』に設定し、テレビやパソコン、ゲームなどのメディアから離れ、家族で読書をしたり地域で行事を企画するなど、子どもたちを中心とした時間の有意義な活用を呼びかけ

（4）読書活動の推進

「親子で図書館に出かけよう」の呼びかけ

（5）家庭教育の充実

町内のすべての幼稚園・保育所、小中学校において保護者を対象とした「家庭教育学級」を開催

（6）学校の取り組み

朝読書や読書月間、親子読書カード、多読書表彰の取り組み、児童会によるあいさつ運動、英語検定や数学検定、漢字検定、歴史検定、平泉検定などに積極的に挑戦する取り組み、地域の協力による危険マップの作成や学校支援ボランティア活動など

### 4 課題解決を判断する評価の方法

組織を再編し、新たな運動をスタートさせてわずか5カ月であり、まずは住民に「きょうしん」の周知を図り運動を浸透させ、一人でも多くの住民が関わることで課題が解決されていくものと考えている。（目標：学校応援団500人）